

Close up  
だて

—大滝区の魅力を発信—

地域おこし協力隊

なが みね よし あき  
**長 嶺 慶 明**さん  
(大滝区優徳町)



発行・編集 伊達市企画財政部企画課  
〒0142-23-3331 内線238-239  
FAX 0142-23-4414  
✉ kounou@city.date.hokkaido.jp  
〒052-0024 北海道伊達市鹿島町20番地1



菊谷市長から委嘱状の交付を受ける長嶺さん



8月10日・11日に行われた大滝キャンプフェスタではカメラを手に、2日間同行しました

**「地**域おこし協力隊」をご存知ですか。これは、人口減少などが進む地方が、地域の外の人材に移り住んでもらい、その地域ならではの「資源」を活用して地域活性化を図っていくことを目的としています。

8月1日に本市初の隊員として着任したのが、大阪府出身の長嶺慶明さんです。

長嶺さんは、臨床工学技士として長野県の病院で勤務していましたが「自分のできることを増やしたい」とスキルアップのため転職を決意。そのときに、偶然「地域おこし協力隊」の存在を知り、募集中の自治体について調べ始めました。その中で、本市の活動内容にあった「大滝クロスカントリーコースを活用した誘客活動」に魅力を感じて応募したそう。「中学・

高校時代は長距離走の選手だったので、その経験を生かして、このコースを多くの方に利用してもらえよう、さまざまな使い方を模索していきたい」と意欲をのぞかせます。

大滝区に住み、その魅力を各種メディアやインターネットを使ってこれから発信していく長嶺さん。大滝区の印象を尋ねると「近所に住む人から声を掛けてもらえる。暖かい人柄の方が多いですね。地域の皆さんと協力し合いながら、まずはFace book(フェイスブック)を使って、大滝区に特化した情報を発信していきたい」と笑顔で意気込みを話してくれました。

大滝区の魅力を市内外の人にPRするために活動する長嶺さんの今後の活躍が楽しみです。

とじて保存しよう

表紙のはなし



8月6日・7日に行われた伊達武者まつり。「おまつり広場」の会場になっていたカルチャーセンター前の多目的広場では、緑日などの他にポニーの乗馬体験が行われました。体験には、多くの子もたちが参加。初めての乗馬体験に、少し緊張しながらも、笑顔で楽しむ姿が見られました。

楽  
画  
記

■昨年負けず劣らずの好天だった今年の武者まつり。市内外から多くの皆さんが来市したほか、巨理高校4人の生徒さんもおまつり広場や武者山車などで楽しい時間を過ごしていました。私はといえば、昨年よりも日差しが強かったのか同じ装備にも拘らず、顔がやけ耳が火傷のような状態に。耳なし芳一を思い出しました。(と)

■今年の武者まつりは2日間とも晴天に恵まれ、あつ〜い中での取材になりました。今年で3回目の取材になりますが、今まで一番暑かったような気がします。しかし、過去2回のような日焼けによる「痛み」や謎の湿疹による「かゆみ」などの被害はありませんでした。3回目にして謎の耐性が付いたのでしょうか。(笑)(た)

■広報紙の編集をしていると、行事で季節を感じます。武者まつりは夏の始まり。秋は食フェスや大物産まつりなど「食欲の秋」を感じるイベントが。冬にはスキーマラソンや雪まつりなど寒さと一緒に楽しむものがあります…が、編集の都合上2ヵ月ほど先取りなので、今が何月なのかわからなくなるのが広報あるあるです。(や)